

令和5年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	20 東京都台東区立せんぞくデイホーム	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援・要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区千束3-28-13 [規模] 延べ床面積 6,733.87㎡のうち755.5㎡ RC造 地上7階地下2階のうち5階の部分
(3)	[委託事業] ①認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等） ②介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）（定員 認知症対応デイ：12名） [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）午前8時30分～午後5時15分
(6)	[人員体制] 6名 （内 訳）施設長（兼務）、栄養士（兼務）、生活相談員（常勤1）、ケアワーカー3.9（準職員1.6、臨時職員2.3）、看護師（常勤1） （前年増減）増減なし

2. 予算決算		R3予算	R3決算	R4予算	R4決算
収入	委託料（指定管理料）	7,500,000	7,500,000	7,500,000	7,500,000
	利用料金収入	37,505,000	37,116,491	39,908,000	38,963,091
	その他収入（雑収入等）	0	13,650	0	1,664,639
	計	45,005,000	44,630,141	47,408,000	48,127,730
支出	人件費	26,096,000	29,157,571	29,039,000	28,249,769
	光熱水費	2,278,000	1,935,624	2,589,000	3,139,373
	維持管理費（委託料・賃借料）	9,416,000	9,302,879	9,825,000	10,332,102
	修繕費	800,000	281,094	500,000	588,610
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（給食費等）	6,415,000	4,099,815	5,455,000	5,141,375
	計	45,005,000	44,776,983	47,408,000	47,451,229
収支			-146,842		676,501

3. 活動指標	単位	(目標値)R6年度	R2年度	R3年度	R4年度
開館日数	日	310	309	312	312
定員	人	12	12	12	12

4. 成果指標	単位	(目標値)R6年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用率	%	78.5	79.4	78.2	77.9
利用者数	人	2,920	2,943	2,927	2,917

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

新型コロナの影響による利用控え等の利用率低下・利用料収入減は改善し、収支状況は赤字から黒字に転じた。引き続き利用率向上に取り組み、より安定した施設運営が求められる。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関係法令、通達等に基づいた施設運営を行っている。災害・事故対応マニュアルを整備し、職員への研修、定期的な避難訓練・防災訓練を行っている。新型コロナ防止対策を徹底し、事故防止対策マニュアルに沿って速やかに事故やけがの対応をしている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	必要な資格者及び人員を配置し、職員に各種研修を実施している。介護度の高い利用者増による利用枠の関係でやや利用率は下がったものの、新型コロナの影響は軽減され、概ね良好である。引き続き利用率向上のための取り組みが望まれる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	設備や備品について定期的に確認し、危険箇所の把握と迅速な対応にて事故防止に努めている。また、日常の清掃業務に加え、消毒を実施するとともに、感染症対策委員会を毎月開催するなど、新型コロナ感染防止対策に取り組んでいる。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	幅広いニーズに応えられるよう、入浴時間を午前中だけでなく午後の枠も増やすなどサービス向上に取り組んでいる。利用者満足度は横ばいではあるが、概ね良好である。引き続き利用者の要望を把握し、適切なサービスの提供に努めていく。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	新型コロナの影響による利用控え等の利用率低下・利用料収入減は改善し、介護度の高い利用者増による収入増及び事務改善による超過勤務等の削減に伴う人件費減の取り組みで、収支状況は赤字から黒字に転じた。
(6) 優れた取り組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

良好 (99 / 110点)	【所見】 新型コロナの影響軽減や、介護度の高い利用者増による収入増に加え、事務改善による超過勤務等の削減に努め、赤字から黒字に転じた。利用者のニーズに応じて入浴時間を増やすなど、サービス向上にも取り組んでいる。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 介護度の高い利用者増による利用枠の関係で、やや利用率が下がった。引き続き利用率向上に取り組み、より安定した施設運営が求められる。